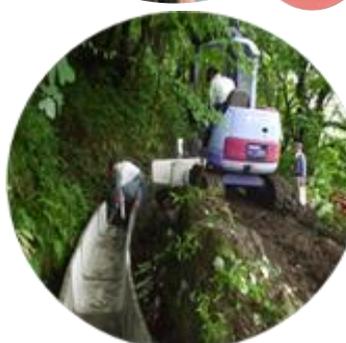


# 弘前市市民参加型まちづくり1%システム ～平成23年度事業活動事例集～



弘前市市民環境部  
市民との協働推進課市民協働係  
電話 0172-40-7108  
FAX 0172-35-7956



# も く じ

分野	事業名	団体名	頁
地域コミュニティ による 地域活性化	「かかしコンテスト」による葛原地域活性化事業	葛原町会	1
	松木平夏まつり	松木平夏まつり 実行委員会	2
	三省SUN太陽（サン）フェスティバル事業	三省地区 活性化協議会	3
	中野町会「餅つき大会」	中野町会	4
地域防犯・ 青少年 健全育成	城西学区安全で安心なまちづくり推進事業	城西学区子ども安全 サポート推進事業部	5
	安全・安心のまち（安全な町づくり推進事業）	北地区 コミュニティ会議	6
	藤代地区の子どもたちを見守り隊事業	自主防犯パトロール 隊アップル☆キッズ	7
地域課題 解決	開保地堰 U 字溝設置事業	十面沢町会	8
	山岸堰改良事業	国吉町会	9
	農道維持管理事業	三和町会	10
福祉	弘前市市民後見人養成研修	権利擁護あおい森 ネット	11
	弘前市民のための専門職による 権利擁護ネットワーク事業	権利擁護あおい森 ネット	12
	弘前アダプテッド・スポーツフェスティバル	こーびっとういーん 5-Between	13

分野	事業名	団体名	頁
文化・芸術的活動、 伝統芸能による 地域活性化	くらっぶ ゆあ はんず CLAP YOUR HANDS	くらっぶ CLAP	14
	コミュニティシネマ事業 はらっぱ 「harappa映画館」	はらっぱ harappa	15
	若手アーティスト支援事業 あーと いっほ 「ARTippo」	はらっぱ harappa	16
	地域の文化資源を生かした生活の再発見プロジェクト 「岩木遠足2011」	岩木遠足実行委員会	17
	パフォーマンスアートふれあい事業2011 ～世界のパフォーマンスアートを楽しむ3日間～	ふあんきー FUNKY すたじあむ STADIUM	18
	次世代ねぶた笛伝承プロジェクト	津軽横笛ギネス 実行委員会	19
その他	日本語学習サポート事業にかかわる 各種イベント事業	弘前日本語クラブ	20
	～学生のかでバス・電車を使いやすく！ ～人とまちを繋ぐ情報誌「ほっと」発行プロジェクト	ほ・っ・と まねーじゃーず Managers	21
	産業遺産的価値の高い情報機関車公開開始及び青森県最古の 駅舎・弘南鉄道新里駅リニューアルオープンセレモニー事業	五能線活性化倶楽部	22
	ベジスタinひろさき	ベジスタin ひろさき実行委員会	23

# 「かかしコンテスト」による葛原地域活性化事業

葛原町会

## 事業内容

地域の世代間交流や活性化を図るため、住民手作りによる「かかしコンテスト」を行いました。かかし作りには、地域の子どもから高齢者まで幅広い年代の参加があり、約130体のかかしが勢ぞろいしました。展示したかかしは、顔や体のバランスなどで採点し、9月に行われた春日神社宵宮で表彰を行いました。

- 事業実施場所：葛原町会内
- 事業実施期間：平成23年9月1日～9月16日
- 参加者数：約130人
- 確定額：126,000円  
(事業費：162,133円)

主な補助対象経費

- 消耗品費（かかし制作費等）
- 保険料
- 使用料（バス借上料）



朝の5時から支柱を設置し、かかしを並べる準備が始まりました。



田んぼ沿いに並ぶかかし。葛原だけでなく、宮地・一町田からの参加もありました。地域以外から見学者も多く訪れ、町内が賑わいました。



作成者が初めて農作業をしたとき、このかかしのような格好だったそうです。



様々なかかしが作られました。中には「たか丸くん」のかかしも。

# 松木平夏まつり

松木平夏まつり実行委員会

## 事業内容

40年ほどの間途絶えていた地域住民の顔が見える交流事業を復活させ、希薄になりつつある地域コミュニティを元気にし、安全・安心な暮らしの一助となることを目的に、「松木平夏まつり」を実施しました。地域の子どもから高齢者まで幅広い年代の参加があり、住民一人一人の顔と名前が分かる交流の場となり、多くの参加者からはまつりに対する高い評価と継続を望む声が聞かれました。

- 事業実施場所：松木平シルバーセンター屋内外
- 事業実施日：平成23年8月21日
- 参加者数：450人
- 確定額：135,000円  
(事業費：417,150円)

— 主な補助対象経費 —

消耗品費（用紙、プリンタトナー等）  
 保険料  
 使用料（ステージ、音響設備借上料等）



夏祭りの開催を知らせるポスター



保育園児による遊戯と太鼓の演奏



消防団による纏振り



登山ばやし保存会による松木平登山ばやしの演奏



たくさんの人で賑わう会場の様子

事業内容

7月下旬から8月上旬にかけて、三省地区5町会（中崎、三世寺、小山、上大川、下大川）の住民を対象に、三省SUN太陽（サン）フェスティバルを開催しました。フェスティバルでは、地区内のねぷた運行や津軽伝統人形芝居、大声大会などが実施され、地域の子どもから高齢者までが参加し、地域の交流の場となりました。

- 事業実施場所：三省地区交流センター
- 事業実施日：平成23年8月6日
- 参加者数：652人
- 確定額：98,000円  
(事業費：258,061円)

主な補助対象経費

講師等謝礼（人形芝居出演料）  
 消耗品費（用紙、プリンタートナー）  
 使用料  
 （大声大会マイク音量測定器借上）



← お金、友情の大切さや必要性をテーマにした人形芝居。「もう1度見たい!」という意見や、「自分たちで人形芝居サークルを作りたい!」という気運が生まれてきました。

人形芝居観覧の様子。 →  
 地域住民の交流の場となりました。  
 大会の準備等に積極的に協力してくれる若い世代の団体も出てきており、今後も地域づくりと世代間交流の親ぼくの場として発展させたいです。



← 大声大会  
 50名参加し、子どもたちの競争意識が高まり、会場の一体感を得ることができました。

## 事業内容

町会会員の親ぼくや家族の触れ合いの場を提供するために、これまで8年間継続してきた「餅つき大会」を開催しました。子どもから高齢者まで、住民のほか、東日本大震災の被災地から避難してきた人が参加し、餅つき体験をしてもらうことで、3世代の親ぼくと交流が深まりました。

- 事業実施場所：中野集会所
- 事業実施日：平成23年12月18日
- 参加者数：150人
- 確定額：31,000円  
(事業費：72,647円)

### 主な補助対象経費

使用料（餅つきセット等借上）  
 消耗品費（発砲スチロール丼、割箸等）



子どもたちに餅つきを体験してもらい、正月を迎える日本人の心を育てることができました。今回の餅つき大会をきっかけに、なり手のいない「あいどり」の後継者も現れ、行事スタッフとして参加してくれる町会会員が例年よりも増えました。



三世代交流を深め、町会行事に対する理解と協力を得ることができました。



小餅に取り分ける作業。  
 町会行事を通じて、町会会員の交流を図ることができました。



餅つき大会を知らせる町内周知チラシ

# 城西学区安全で安心なまちづくり推進事業

## 城西学区子ども安全サポート推進事業部

### 事業内容

犯罪や事故のない、安全で安心して生活できる地域の環境をつくるため、防犯ポスターの掲示、住民参加による巡回パトロール、「子ども安全ニュース」の発行を行いました。地域の協力により、防犯ポスターを学区内に270枚掲示するとともに、延べ35回612名の住民による巡回パトロールを実施することができ、「地域の子どもは、地域で守り育てる」という住民意識が高まりました。

- 事業実施場所：城西学区内全域（15町会）
- 事業実施期間：平成23年8月1日～平成24年2月28日
- 参加者数：579人
- 確定額：130,000円  
(事業費：144,455円)

—— 主な補助対象経費 ——

消耗品費（腕章、ポスター設置経費等）  
印刷製本費（ポスター、シール印刷）  
通信運搬費（郵便料）  
使用料（車両借上料）



防犯ポスターを学区内に掲示。「自宅にも掲示したい」という問い合わせも。



防犯パトロールの際には腕章を着用しました。



長期休暇明けの登校時の見守りを実施し、毎週木曜日の下校時には、低学年の児童に対し防犯指導や学校から自宅までの誘導を実施しました。

事業内容

地域に住む誰もが、安全・安心して暮らせるまちづくりを実現するために、団体内に「安全・安心なまちづくり推進委員会」を組織し、統一したユニフォームで登下校支援や防犯パトロール等を行いました。定期的な活動により地域住民の防犯意識が高まり、地域ぐるみの防犯活動を対外的にアピールすることで、犯罪の抑制につながりました。

- 事業実施場所：北地区街角通路及び北小学校区域
- 事業実施期間：平成23年10月1日～平成24年3月31日
- 参加者数：471名
- 確定額：240,000円  
(事業費：273,733円)

主な補助対象経費

- 消耗品費  
(キャップ、ベスト、腕章等)
- 印刷製本費(コピー代)
- 通信運搬費(郵便料)



揃いのベストでパトロールを行い、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます！



早朝の登校支援。

黄色いベストが目立って、車のスピードも落ちています。

# 藤代地区の子供たちを見守り隊事業

## 自主防犯パトロール隊 アップル☆キッズ

### 事業内容

致遠・三省小学校の小学生を対象に、防犯啓発の缶バッジ作り、非行防止や防犯をテーマにした紙芝居などを実施し、地域ぐるみの防犯活動に取り組みました。缶バッジ作りでは、学年間での交流を通じて思いやりの心が少しずつ生まれ、紙芝居や絵本の読み聞かせを行うことで、地区の子ども達の防犯意識を高めることができました。

- 事業実施場所：致遠・三省小学校区
- 事業実施期間：平成23年10月10日～平成24年3月30日
- 参加者数：1000人
- 確定額：155,000円  
(事業費172,533円)

### 主な補助対象経費

消耗品費  
 (缶バッジキット、大型絵本、紙芝居枠等)  
 印刷製本費 (大型紙芝居等)



大型紙芝居。防犯用語「いかのおすし」で防犯意識を高めています。



防犯啓発の缶バッジを作成中。ランドセルにつけている子もいます。



地区駐在所の方のお話。子どもたちが関係する犯罪が少なくなってきました。



あいさつ運動。みんなに万引き防止を呼びかけしています。

## 事業内容

町会の農業用水・防火用水・融雪用水として利用されている開保地堰について、一部の区間が春の雪解け時や大雨の際に決壊する恐れがあるため、U 字溝（U 型の排水溝）を購入し、地域住民による改修工事を実施しました。（改修延長約 80m）

- 事業実施場所：十面沢轡地区
- 事業実施期間：平成23年8月1日～8月3日
- 参加者数：20人
- 確定額：472,000円  
（事業費：553,404円）

— 主な補助対象経費 —

- 原材料費（U字溝、砕石等）
- 燃料費（重機ガソリン代）
- 保険料
- 使用料（重機借上料等）

## U 字溝設置工事の流れ



着工前の堰の様子



水を止め、掘削している様子



U 字溝を設置



隙間を埋めるための目地詰め



U 字溝を埋め戻す作業



完成

## 事業内容

町会の農業用水・防火用水・融雪用水として利用されている山岸堰について、一部の区間が春の雪解け時や大雨の際に決壊することがあるため、U字溝（U型の排水溝）を購入し、地域住民により改修工事を行いました。水漏れが解消され、泥やゴミがたまらなくなり、水の流れが非常に良くなりました。（改修延長約100m）

- 事業実施場所：館後地区
- 事業実施期間：平成23年8月18日～9月9日
- 参加者数：14人
- 確定額：493,000円  
（事業費：560,188円）

— 主な補助対象経費 —

原材料費（U字溝、モルタル、砂利等）  
 燃料費（重機ガソリン代）  
 保険料  
 使用料（重機借上料等）

### U字溝設置工事の流れ



着工前の堰の様子



堰周辺の雑木の伐採・草刈



掘削し、U字溝を設置していきます。



隙間を埋めるための目地詰め



完成

**10 農道維持管理事業**

**三和町会**

**事業内容**

農道の舗装が壊れている部分の補修作業や農道除雪を地域住民により実施することで、農地までの移動を容易にして農作業の環境を整備しました。除雪作業により、冬期間のりんごの木の枝切り作業などが早期に開始できるようになりました。農道の補修工事では、地域住民が作業に関心を示して手伝うなど、地域の課題は町会が主体で取り組む自発的行動力を高めるきっかけとなりました。

- 事業実施場所：三和、笹館地域
- 事業実施期間：平成23年10月1日～平成24年3月30日
- 参加者数：36人
- 確定額：486,000円  
(事業費627,425円)

主な補助対象経費

使用料（ロータリー除雪機借上）  
燃料費（重機ガソリン代）  
原材料費（アスファルト代等）等



実施区域



農道補修前



農道補修後



除雪前



除雪中



除雪後

# 弘前市市民後見人養成研修

11

一般社団法人権利擁護あおい森ねっと

## 事業内容

成年後見人の需要が増え、その養成が急務となる中、市民の成年後見制度への理解を深め、制度利用が進むよう、市民を対象とした「市民後見人養成講座」を開催しました。参加者は、成年後見人の活動内容や課題・問題点などを具体的に学ぶことができ、講座開催後、実際に市民後見人として活動したいという人もいました。

- 事業実施場所：社会福祉センター、市民参画センター、ホテルニューキャッスル
- 事業実施期間：平成23年9月10日～11月23日
- 参加者数：45人
- 確定額：395,000円  
(事業費：539,907円)

— 主な補助対象経費 —

- 講師等謝礼（研修講師謝礼）
- 交通費（講師交通費）
- 印刷製本費（テキスト、チラシ代等）
- 通信運搬費（郵便料）
- 使用料（会場費）等



成年後見制度の概要について



任意後見制度について



家族法～相続や親族について～



成年後見人の役割～財産管理～

2ヶ月間で合計8回にわたって成年後見制度の養成講座を開催しました。募集人員20名に対して40名の申込みがあり、平日でも20名ほどの参加があるなど、受講者の興味や受講意欲の高さがうかがえました。

事業内容

市民後見人養成研修受講者などが安心して活動をするための支援体制を整えるために、弁護士、精神科医や社会福祉士などの様々な専門職や行政などをつなげるネットワーク会議、市民を対象とした専門職による総合相談会や、養成と役割について学ぶ講演会とシンポジウムを開催しました。事業を通じて、法律職と福祉職のネットワーク化が図られ、講習会・シンポジウムの参加者は多くの共感を持ち、今後の市民後見人養成へのはずみとなりました。

- 事業実施場所：弘前市観光館、ホテルニューキャッスルほか
- 事業実施期間：平成23年12月1日～平成24年3月31日
- 参加者数：146人
- 確定額：500,000円  
(事業費：583,716円)

主な補助対象経費

講師等謝礼  
(相談員・講演会講師謝礼等)  
交通費(講演会講師交通費)  
消耗品費(チラシ、ポスター費等)  
使用料(会場費)等



福祉と暮らしの総合相談会。複雑化する福祉と暮らしの問題に、法律職と福祉職がペアを組んで相談を受けることで、相談者から有意義だったと好評を得ました。



シンポジウム「市民後見人の養成と期待される役割について」。高まる成年後見人の必要性について講演を行い、参加者から多くの共感を得ることができました。

事業内容

車いすバスケットボール、フロアバレーボール、聾卓球、よさこいの4種目を、障がいの有無に関わらず一緒に体験するアダプテッドスポーツ・フェスティバルを開催しました。参加者からは障がいに対する考えが改まったという意見も寄せられ、障がい者との交流を深めることができました。

- 事業実施場所：青森県武道館
- 事業実施日：平成24年2月25日
- 参加者数：106人
- 確定額：187,000円  
(事業費：207,840円)

主な補助対象経費

- 講師等謝礼（スポーツ体験・指導謝礼）
- 印刷製本費（ポスター印刷等）
- 保険料
- 使用料（会場費）等



車いすバスケットボール。  
専用の車椅子に乗ってチャレンジ！  
初めて車椅子を利用した人は苦戦。



みんなでよさこい。  
ダウン症の子ども達が先生です。



ネットの下からボールを潜らる  
フロアバレーボール。  
視覚障がいのある方と一緒にプレイで  
きる競技です。



聾卓球を体験。日本ろうあ者卓球協会の  
会長を講師に迎えました。  
普通の卓球と基本的なルールは同じです  
が、耳の聞こえない人には少し難しいと  
お話がありました。

# CLAP YOUR HANDS (クラップ ユア ハンズ)

## CLAP (クラップ)

### 事業内容

市内にはフラダンスやストリートダンスなどさまざまなジャンルのダンスサークルがありますが、その活動を発表する場が少ないことから、9月のカルチャアロードの開催に合わせ、ダンスの発表会を計画しました。当日は、カルチャアロードが雨天延期となったため、会場をまちなか情報センターに移し、参加した28団体が活動発表を行いました。

- 事業実施場所：まちなか情報センター内・まちなか情報センター付近
- 事業実施日：平成23年9月18日・25日
- 参加者数：220人
- 確定額：255,000円  
(事業費：360,513円)

### 主な補助対象経費

講師等謝礼(ゲストダンサー出演料等)  
 交通費(ゲストダンサー交通費)  
 印刷製本費(ポスター、チラシ等印刷)  
 使用料(会場費、音響機材レンタル料等)等



オープニングは大道芸



小さな子どもたちも参加



サルサダンス



タヒチアンダンス



最後はみんなが踊りだすくらい  
楽しいイベントとなりました。



聖愛高校のチアリーディング  
(カルチャアロードにて)

カルチャアロードは雨天延期になりましたが、様々なジャンルのダンスチームなどが、演技を披露し、10代から20代を中心に高齢の方まで来場し、熱心に観覧されており、多くの市民に関心を持ってもらうことができました。

事業内容

中心市街地にあるスペース・アストロにて、県内で上映されることの少ないミニシアター系映画やドキュメンタリー映画を上映しました。上映作品の監督を招き、映画の楽しみ方をお話していただくなど、地域住民に対し映画文化の普及を図ることができたほか、会場を市街地にしたことにより、住民が街に出かけるきっかけを作ることができました。

- 事業実施場所：弘前中三8階「スペース・アストロ」
- 事業実施日：平成23年10月23日・平成24年3月17日
- 参加者数：461人
- 確定額：500,000円  
(事業費：720,386円)

—— 主な補助対象経費 ——

講師等謝礼（映画解説講師謝礼）  
 交通費（講師交通宿泊費）  
 印刷製本費（ポスター、チラシ等印刷）  
 使用料（会場費、フィルム借上料）等



上映作品の監督をゲストに迎え、映画の楽しみ方のほか、表現活動としての映画についてなど、お話していただきました。



来場された方々には、県内ではなかなか上映される機会の少ない作品を楽しんでいただくことができました。

事業内容

市内で個々に活動する若手作家などにとって、アートや表現活動について語る場や、仲間と出会う機会が少ないことから、作品制作や展示方法、表現などを学ぶワークショップを開催しました。参加者同士を結び付け、多様な表現方法を体験して感性を磨くことで、自らの個展の開催やショップを開くなど、次の展開へ後押しすることができました。

- 事業実施場所：スペース・デネガ
- 事業実施期間：平成23年11月26日～28日、平成24年3月20日
- 参加者数：174人
- 確定額：314,000円  
(事業費：349,946円)

主な補助対象経費

- 講師等謝礼（ワークショップ講師謝礼）
- 交通費（講師交通宿泊費）
- 消耗品費（展示用品等）
- 使用料（会場費）等



1回目は制作ワークショップ。作品をつくり、見せるという表現活動の「企画」・「制作」・「展示」というステップを実際に体感し、今後の活動に役立てていただくことができました。



2回目のワークショップは「料理と編集について」というテーマで、食を用いた表現方法について学びました。



ワークショップを共に体験することにより、普段個々で活動している人たちの交流の場となりました。

# 地域の文化資源を生かした生活の再発見プロジェクト

17

岩木遠足実行委員会

## 事業内容

弘前の風土・文化といった地域資源から現在の生活を見直すためのプロジェクト「岩木遠足 2011」を開催しました。津軽に暮らす人の体験談、伝統工芸品の制作体験、3組のアーティストによるライブパフォーマンスなどを通し、弘前の地域資源の魅力を知るきっかけを作ることができ、県外からの参加者からは「また弘前をたずねたい」という感想もありました。

- 事業実施場所：吉井酒造煉瓦倉庫ほか
- 事業実施期間：平成23年9月24日・25日
- 参加者数：900人
- 確定額：500,000円  
(事業費：2,083,169円)

主な補助対象経費

講師等謝礼  
(ワークショップ、ライブ等謝礼)  
交通費(講師交通宿泊費等)  
使用料(会場費、音響照明借上料等)等

## ～生活の時間(1日目)～



こけしコースでは伝統工芸である「こけし」の絵付けを体験しました。

マタギコースではマタギのくらしについてお話をいただいたり、白神山地を山歩きました。

おむすびコースではおむすびづくりのほか、こぎん刺し体験をしました。

## ～音楽の時間(1日目)～

## ～学びの時間(2日目)～

## ～まとめの時間(2日目)～



吉井酒造煉瓦倉庫で3組のアーティストによるライブパフォーマンスが行われました。

「生活の時間」の各コースの「バスガイド」が講師となり、地域資源の魅力についてのワークショップやレクチャーを開催しました。

2日間で体験したことをどのように日常生活に活かすかについてのトークセッションを行いました。

18 パフォーマンスアートふれあい事業2011  
 ～世界のパフォーマンスアートを楽しむ3日間～  
 FUNKY STADIUM

事業内容

自分自身の身体を使って表現を行うパフォーマンスアートを用いて、若者や親子が気軽に参加して楽しめるワークショップ（パントマイム、ジャズダンス、お父さんのためのストリートダンス講座等）とその成果を発表するイベントを開催しました。様々な分野のパフォーマンスアートに触れ、参加者同士の交流の場となりました。

- 事業実施場所：スペースデネガ、Sappa-Doほか
- 事業実施期間：平成23年11月1日～平成24年3月31日
- 参加者数：444人
- 確定額：500,000円  
 （事業費：777,890円）

主な補助対象経費  
 講師等謝礼  
 （ワークショップ等講師謝礼）  
 交通費（講師交通費）  
 使用料（会場費）等



だーよし（パントマイム）によるワークショップ。滅多に受講できない有名人講師の指導により、受講者は短時間で技術を習得。



KAORIを迎えてジャズダンスワークショップ。日頃から実践できるストレッチ指導もありました。



親子でダンシング。親子一緒に楽しむことができるので、継続開催を希望する声が聞かれました。



HASEによるワークショップ。独学で習得するのは難しいBE-BOPダンスを学ぶことができる希少な機会となりました。

# 次世代ねぷた笛伝承プロジェクト

津軽横笛ギネス実行委員会

## 事業内容

津軽の郷土芸能であるねぷた囃子の次世代への伝承や郷土芸能を通じた地域活性化を目的として、ねぷた横笛の制作・配布と横笛を活用したまちおこしについて考える研究会を開催しました。子どもたちが郷土の芸能・文化に触れて興味を持ってもらうための土台づくりと、郷土芸能からの地域活性化の可能性を探ることができました。

- 事業実施場所：市内各所
- 事業実施期間：平成23年12月1日～平成24年3月31日
- 参加者数：50人
- 確定額：233,000円  
(事業費：259,321円)

### 主な補助対象経費

- 原材料費（塩ビ管等）
- 消耗品費（電動ドリル等）
- 講師等謝礼  
(ワークショップ講師謝礼)



塩化ビニール管を素材とした「ねぷた横笛」作り。学校へ配布し、子どもたちへ囃子を指導できる環境づくりをするとともに、弘前大学学生へ、笛の制作方法を伝授し、学生へのねぷた囃子の浸透を図ることができました。



「横笛」でまちおこし研究会  
実施のお知らせ



### 「横笛でまちおこし研究会」

市内から幅広い年代の方々が参加。まちおこしや観光開発のための必要な知識を学びました。



### 「グループワーク」

今後のまちおこしにおける横笛の持つ可能性について活発な意見交換を行いました。

# 日本語学習サポート事業にかかる各種イベント事業

20

弘前日本語クラブ

## 事業内容

市内等に在住する外国人の日本語学習の一環として、津軽塗体験や斜陽館見学・津軽三味線体験、年賀状作成などの日本や津軽の文化にふれる体験や、各国文化の紹介や交流を図るイベントを実施しました。日本文化にふれることで、より一層の日本語理解を深めるとともに、各国文化の交流を図ることができました。

- 事業実施場所：市民参画センター、斜陽館・津軽三味線会館
- 事業実施期間：平成23年8月25日～12月15日
- 参加者数：のべ115人
- 確定額：93,000円  
(事業費：104,123円)

— 主な補助対象経費 —

講師等謝礼（津軽塗体験講師謝礼）  
 消耗品費（津軽塗材料費等）  
 使用料（会場費、車両借上料）等



津軽塗体験の様子。丁寧にヤスリがけをします。



斜陽館などの津軽の名所を見学し、津軽の文化を学びました。



帰国する留学生のお別れ会&クリスマスパーティー。帰国する留学生から日本での生活などの感想を述べてもらい、修了書を交付しました。



日本の年賀状の文化を学び、実際に年賀状を作成しました。

# 21 ～学生の手でバス・電車を使いやすく！～ 人とまちを繋ぐ情報誌「ほっと」発行プロジェクト

H・O・T Managers

## 事業内容

市民がバスや電車をより気軽に使えるようにするため、交通機関の使い方、路線図などの基本的な情報や、沿線地域の店舗や各種施設の情報を掲載した情報誌「ほっと」を創刊しました。市内各大学や駅、バスターミナル、観光案内所などで配布し、交通機関の利用促進を図りました。

- 事業実施場所：弘前市内中心部、大鰐町などの周辺自治体
- 事業実施期間：平成23年8月1日～平成24年3月31日
- 参加者数：5人
- 確定額：444,000円  
(事業費：493,438円)

### 主な補助対象経費

- 印刷製本費（情報誌印刷代）
- 交通費（取材交通費）
- 消耗品費（用紙、プリンタートナー等）
- 通信運搬費（郵便料）

弘前駅前



沿線地域の飲食店



弘南バス弘前営業所



「ほっと」創刊に向けて、市内各所で取材。



「ほっと」市内外、いろんな場所で配布しています！  
市民や学生の交通機関利用促進だけでなく、観光客のまち歩きにも活用されました。

# 22 産業遺産的価値の高い蒸気機関車公開開始および青森県最古の駅舎・弘南鉄道新里駅リニューアルオープンセレモニー事業

特定非営利活動法人 五能線活性化倶楽部

## 事業内容

弘南鉄道新里駅構内に移設した蒸気機関車の公開と駅舎のリニューアルオープンセレモニーを、東北新幹線開通1周年の日に地域住民などと協力して実施しました。弘前市の新たな観光資源を全国にアピールし、新里駅を地域住民の交流と憩いの場として活用していく第一歩となりました。

- 事業実施場所：弘南鉄道 新里駅構内
- 事業実施日：平成23年12月4日
- 参加者数：2,000人
- 確定額：330,000円  
(事業費：522,805円)

### 主な補助対象経費

使用料（ステージ、音響設備等借上）  
 保険料  
 その他の経費（看板製作料等）



小学生を対象に、鉄道教室を開催しました。



弘南鉄道マスコットキャラクター「ラッセル君」と現役で活躍中のラッセル車。当日は撮影会も開催されました。



ミニSL運行。駅舎とその周辺地域を活用することで、地域住民による地域活動が活発になるきっかけ作りとなりました。

事業内容

弘前産農産物の素晴らしさを地域住民に知ってもらうため、全国組織である「ベジスタ」と連携し、親子で参加できる食育イベント「ベジスタ in ひろさき」を開催しました。参加した子どもたちが、“弘前産りんご”への関心を深め、“食”についての正しい知識やマナーを学ぶとともに、弘前産農産物やりんごを全国へPRすることができました。

- 事業実施場所：駅前公園および駅前地下通路
- 事業実施日：平成23年12月4日
- 参加者数：60人
- 確定額：500,000円  
(事業費：560,393円)

主な補助対象経費

- 講師等謝礼（食育教室等講師謝礼等）
- 印刷製本費（チラシ・ポスター印刷）
- その他（デジタルブック制作費、サイト制作費等）等



ipadで食育クイズ！特産品のりんごや巨大アップルパイの作り方について勉強できます。



イベント実施のお知らせ



ギネスに挑戦！巨大アップルパイづくり。子ども達に地域食材の豊かさや安全・安心さを感じるきっかけ作りとなりました。